

2024年8月期（第46期）第1四半期 決算補足説明資料

2024年1月12日

upr

upr ユーピーアール株式会社
(コード番号7065 東証スタンダード市場)

売上高	営業利益	経常利益	EBITDA ※
3,885 百万円	197 百万円	269 百万円	963 百万円
対前年同期比 増減率 3.7%	△21.8%	0.2%	4.3%

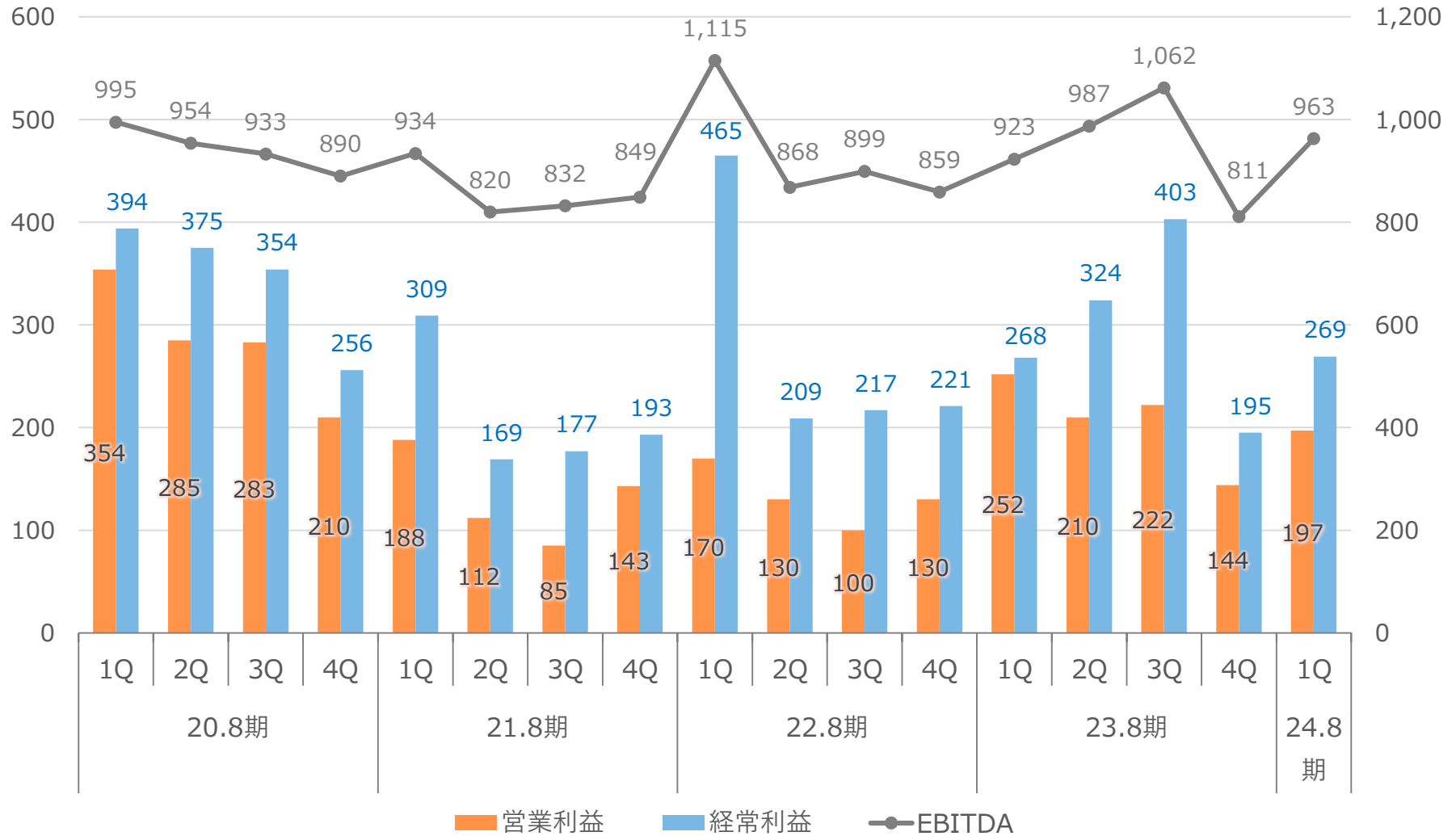
※EBITDA = 税引前当期利益 + 減価償却費 + 支払利息

対前年同期比、増収増益（経常利益ベース）

- 売上：レンタル・販売事業は、引き続き堅調に推移
ICT・ビークルソリューション事業は、順調に推移
海外は、大口販売により好調に推移
- 営業利益：販管費の増加により、対前年同期比△55百万円の減益
販管費については、9月よりベースアップを実施し、人件費が増加。
- 経常利益：受取補償金の増加及び為替の影響により、
対前年同期比で+0.6百万円の増益

営業利益、経常利益及びEBITDAの推移（四半期毎）

(単位：百万円)



第1四半期ポイント

セグメント	事業	対前年同期比	トピックス
物流事業	レンタル	微増	<ul style="list-style-type: none"> ■ 保管用は港湾地区の冷凍冷蔵倉庫の入庫減があったものの、在庫量は依然として前年同期の水準を維持し、堅調に推移 ■ 輸送用は家庭紙・玄米を中心に共同利用・共同回収が順調に拡大 ■ 「物流の2024年問題」への対応期限が迫り、追い風の環境
	販売		<ul style="list-style-type: none"> ■ 企業の物流拠点への投資は引き続き堅調に推移
	アシスト スーツ	減収	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロ仕様を追求した「サポートジャケットBb+PROIII」を発売 ■ 代理店への営業を強化中
	物流IoT	微増	<ul style="list-style-type: none"> ■ 前年同期比微増にて推移
コネクティッド事業	ICT	増収	<ul style="list-style-type: none"> ■ 駐車場関連の遠隔監視ソリューションの機器販売が順調に推移 ■ サービス売上（サブスクリプション売上）の積み上げは堅調 ■ DXタグは家畜管理や物品管理の事業化に向け、実証実験中
	ビークル ソリューション		<ul style="list-style-type: none"> ■ 主要取引先の納車遅れ解消、カーシェアリング需要の回復に伴い、車載器販売が順調に推移 ■ 自主事業についても、順調に推移

売上高詳細

(単位：百万円)		23.8期_1Q	24.8期_1Q	対前年同期比		24.8期_2Q (業績予想)	対業績予想 進捗率	24.8期_通期 (業績予想)	対業績予想 進捗率
				増減額	増減率				
物流事業	レンタル	2,420	2,483	62	2.6%	5,058	49.1%	10,552	23.5%
	販売	945	961	16	1.7%	1,996	48.2%	3,471	27.7%
	アシストスーツ	49	27	△ 21	△44.0%	75	36.7%	142	19.5%
	物流IoT	105	107	1	1.4%	216	49.5%	450	23.8%
	合計	3,521	3,579	58	1.7%	7,346	48.7%	14,615	24.5%
コネクティッド事業	ICT	156	201	44	28.3%	400	50.2%	924	21.8%
	ビークルソリューション	69	104	34	49.5%	129	80.5%	360	29.0%
	合計	226	305	79	34.8%	530	57.6%	1,284	23.8%
全社合計		3,748	3,885	137	3.7%	7,876	49.3%	15,900	24.4%
(うち海外)		147	373	226	153.8%	648	57.6%	980	38.1%

(※記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております)

損益計算書 (PL)

(単位：百万円)	23.8期_1Q	24.8期_1Q	対前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	3,748	3,885	137	3.7%
売上原価	2,507	2,627	119	4.8%
売上総利益	1,240	1,258	17	1.4%
売上総利益率	33.1%	32.4%	△0.7%	—
販売費及び一般管理費	988	1,061	72	7.4%
販管費率	26.4%	27.3%	0.9%	—
営業利益	252	197	△ 55	△21.8%
営業利益率	6.7%	5.1%	△1.7%	—
経常利益	268	269	0	0.2%
経常利益率	7.2%	6.9%	△0.2%	—
親会社株主に帰属する当期純利	178	167	△ 11	△6.3%
当期純利益率	4.8%	4.3%	△0.5%	—
設備投資額	1,259	1,155	△ 103	△8.2%
減価償却費	646	684	37	5.8%
EBITDA	923	963	39	4.3%
研究開発費	38	13	△ 25	△65.2%

(※記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております)

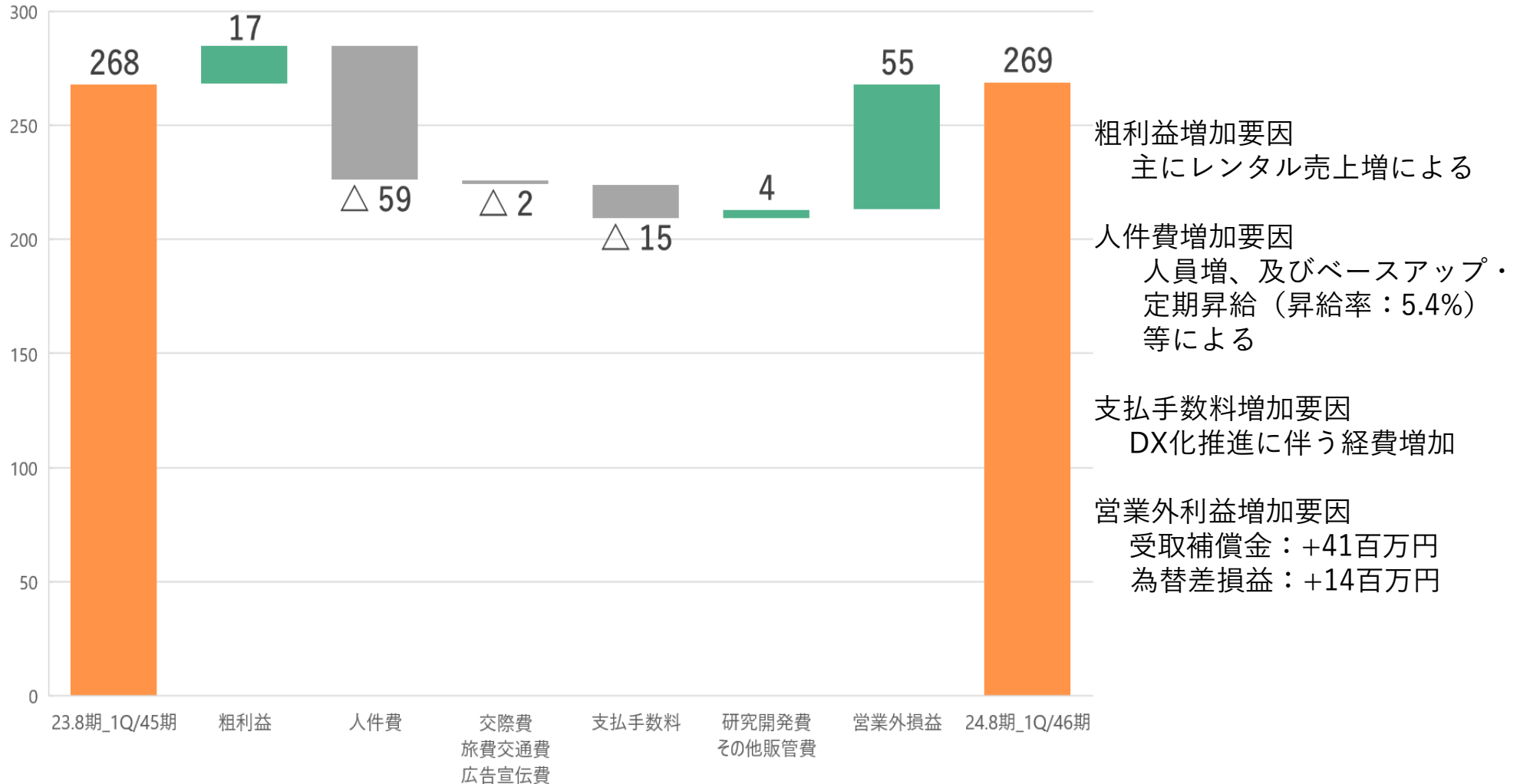
貸借対照表 (BS)

(単位：百万円)	23.8期_4Q	24.8期_1Q	対前期末比	コメント
			増減額	
流動資産	6,032	6,355	322	現金及び預金の増加
現金及び預金	3,211	3,556	344	
固定資産	14,866	15,404	538	レンタル資産の増加
レンタル資産 (純額)	10,805	11,305	500	
資産合計	20,898	21,759	860	
負債合計	12,392	13,187	794	短期借入金の調達等
株主資本	8,421	8,481	60	利益剰余金の増加
純資産	8,505	8,571	66	
負債・純資産合計	20,898	21,759	860	
自己資本比率 (%)	40.4%	39.1%	△1.3%	

(※記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております)

経常利益の増減分析（対前年同期比）

（単位：百万円）



ハイライト

レンタル

輸送用は順調に推移 売上は対前年同期比+2.6%

■ 保管用パレットのレンタル売上

- ・港湾地区の冷凍冷蔵倉庫は在庫減はあったものの、在庫量は依然として前年同期の水準を維持し、堅調に推移

■ 輸送用パレットのレンタル売上

- ・家庭紙、玄米、冷菓を中心に共同利用・共同回収が順調に拡大
- ・パレット輸送が進んでいない業界についても、一部の企業での受注を見込むなど2024年問題対策が徐々に進捗
- ・国が発表した荷待ち・荷役作業時間等2時間以内ルール※の対応に繋がるパレット輸送、共同回収の動きは活性化しているものの、実際の各企業の対応は2024年度中と見込まれ、継続的な営業活動を推進中

※出所：<https://www.meti.go.jp/press/2023/06/20230602005/20230602005.html>

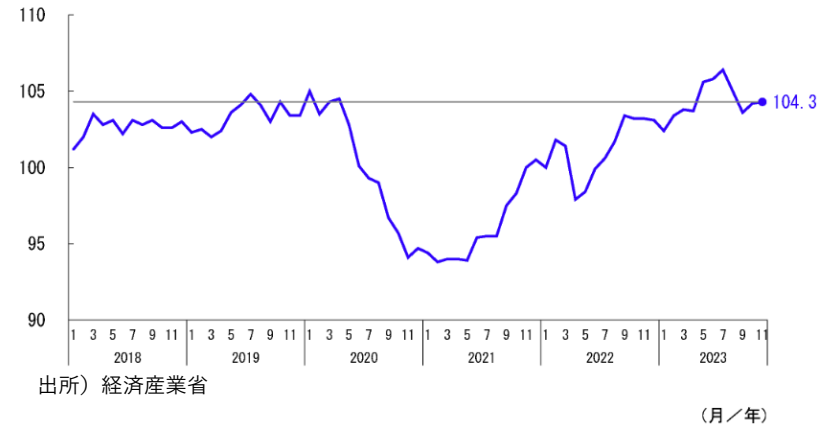
■ 海外

非日系新規顧客の獲得により、概ね計画のとおり推移
(前年同期比 3.0%増)

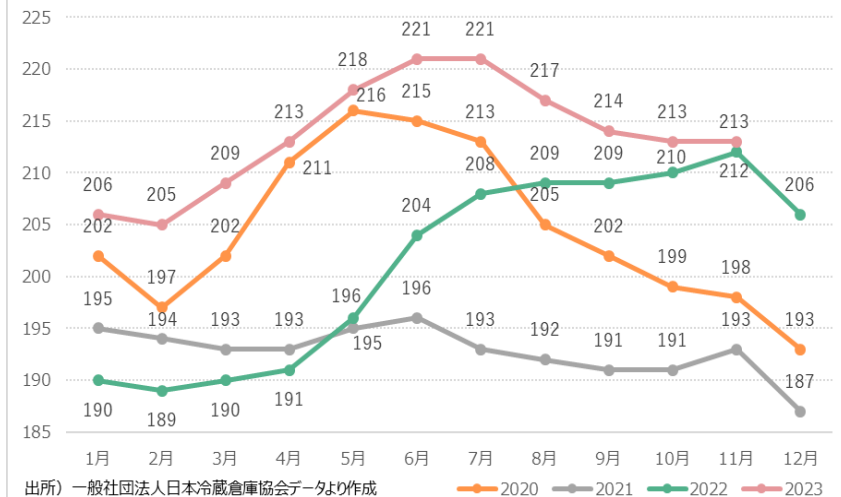
鉱工業在庫指数の動向

・2023年11月の鉱工業在庫指数は、104.3(前月比0.1%)と2か月連続の上昇。

(2020年=100、季節調整済)



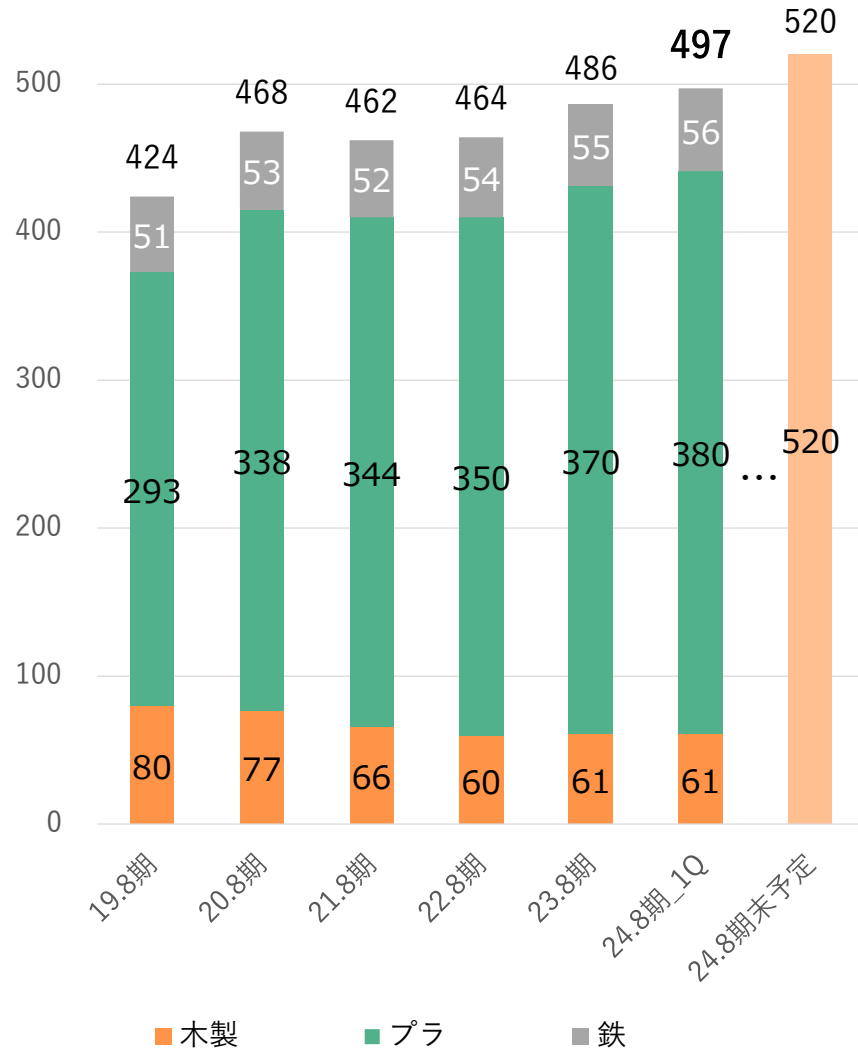
冷蔵倉庫主要12都市受寄物庫腹利用状況 月末在庫量



パレット保有枚数及び各種指標

各アイテム保有枚数

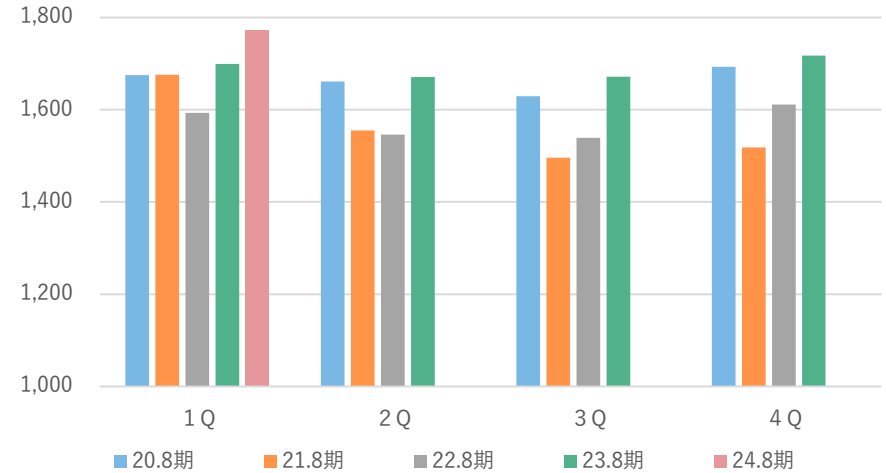
(万枚)



国内保管用パレット

(百万円)

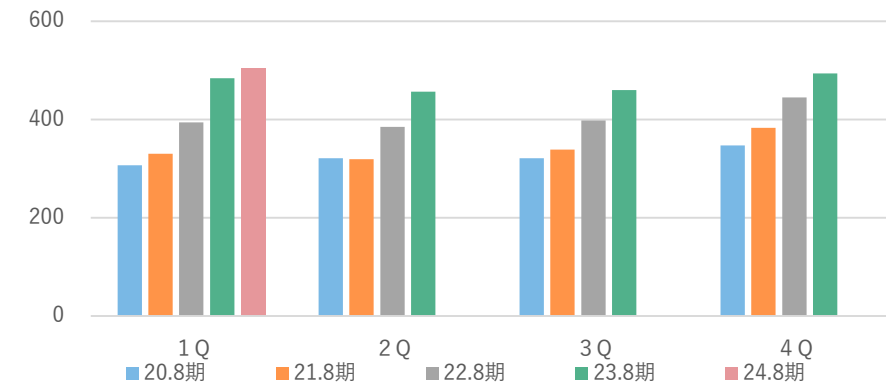
レンタル売上



国内輸送用パレット

(百万円)

レンタル売上



物流の2024年問題に対する官公庁の施策最新情報

物流の2024年問題に対し、早期に成果が得られるよう様々な施策が講じられている

■ 内閣官房

「我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議」の「物流革新緊急パッケージ」をふまえ、業種・分野別に各団体が物流の適正化・生産性向上に関する「自主行動計画」を政府に提出し、内容が公表されている
 出所：https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/buturyu_kakushin/jisyukoudoukeikaku.html

■ 国土交通省

「物流革新緊急パッケージ」に基づき補正予算約159億円が閣議決定

出所：<https://www.wtb.mlit.go.jp/chugoku/content/000313635.pdf>

「パレット標準化推進分科会」ではレンタルパレットの活用を推奨
 出所：https://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/seisakutokatsu_tk_000053.html

パレットの利用推進や紛失・不正利用防止を訴求する啓発ポスターを作成

出所：https://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/freight/seisakutokatsu_freight_tk1_000247.html

トラックGメン躍動（荷主による違反原因行為の実態を把握するための調査）

発足後2か月の実績：「働きかけ」件数120件（前年比4倍）、「要請」5件。11月・12月は「集中監視月間」として、悪質な荷主に対し監視強化
 出所：https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha04_hh_000286.html



24年8月期トピックス

年月	対象事業	トピックス
2023年9月	アシストスーツ	外骨格型パッシブタイプのアシストスーツ「サポートジャケットBb+PROIII」を新発売
2023年9月	全社	国際物流総合展2023第3回INNOVATION EXPO出展@東京ビックサイト
2023年9月	レンタル	全農物流株式会社と、米穀のパレット輸送を拡大するためのパレット管理システムを共同開発し、運用を開始
2023年10月	全社	日本経済新聞朝刊17面に取材記事が掲載
2023年11月	全社	BSテレ東経済番組「マネーのまなび」に「物流2024年問題」の解決に挑む成長企業として代表取締役酒田義矢がインタビュー出演
2023年11月	全社	「第7回日経スマートワーク経営調査」3星に認定
2023年11月	全社	「物流の2024年問題」対策セミナーを開催



売上高詳細（四半期毎）

(単位：百万円 増減率：%)

		22.8期								23.8期								24.8期	
		1 Q		2 Q		3 Q		4 Q		1 Q		2 Q		3 Q		4 Q		1 Q	
		売上	増減率	売上	増減率	売上	増減率	売上	増減率	売上	増減率	売上	増減率	売上	増減率	売上	増減率	売上	増減率
物流事業	以外	2,172	0.1	2,132	4.4	2,153	6.7	2,290	8.8	2,420	11.4	2,338	9.7	2,358	9.6	2,465	7.6	2,483	2.6
	販売	744	6.7	651	-8.7	876	-9.5	739	-5.6	945	27.0	917	40.8	1,020	16.4	675	-8.6	961	1.7
	AS	28	-29.9	29	-27.4	38	-6.9	25.4	-51.4	49	74.4	23	-18.9	23	-39.6	19	-24.9	27	-44.0
	物流IoT	106	19.5	111	17.9	118	8.2	98.5	-7.4	105	-0.4	109	-1.6	104	-11.5	105	7.2	107	1.4
	合計	3,051	1.8	2,924	1.2	3,186	1.5	3,154	6.4	3,521	15.4	3,389	15.9	3,507	10.1	3,265	3.5	3,579	1.7
コネクテッド事業	ICT	163	46.9	144	48.4	196	34.7	141	3.4	156	-4.2	229	59.5	199	1.9	213	51.1	201	28.3
	VS	87	-19.8	58	-46.7	108	-8.0	112	2.6	69	-19.9	69	19.0	97	-10.2	112	0.1	104	49.5
	合計	250	14.4	202	-2.1	304	15.6	254	3.0	226	-9.7	299	47.8	297	-2.4	326	28.5	305	34.8
全社合計		3,302	2.6	3,127	1.0	3,491	2.6	3,408	6.2	3,748	13.5	3,688	18.0	3,804	9.0	3,592	5.4	3,885	3.7
(うち海外)		124	-2.9	133	9.0	128	-2.4	152	25.9	147	17.9	145	8.7	140	9.1	169	10.8	373	153.8

AS = アシストスーツ VS = ビークルソリューション

※増減率は対前年同期比で計算しております

(※記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております)

【免責事項】

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や安全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは安全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって大きく差異が発生する可能性があります。なお、当社は新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

本資料は、投資勧誘目的で作成されたものではありません。

実際に投資を行う際は、本資料を全面的に依拠した投資判断を下すことはお控えください。いかなる目的でも、本資料の一部または全部を、無断で転載、二次利用することはご遠慮ください。